

製品名: アセチル eIF5A/eIF5A2 (K47) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04159**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

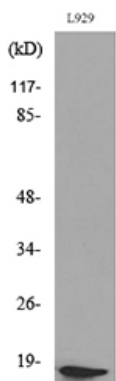
遺伝子名	EIF5A2
別名	EIF5A2; Eukaryotic translation initiation factor 5A-2; eIF-5A-2; eIF-5A2; Eukaryotic initiation factor 5A isoform 2
遺伝子 ID	56648.0
SwissProt ID	Q9GZV4
免疫原	抗血清は、Lys47 のアセチル化部位周辺のヒト eIF5A 由来の合成アセチルペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

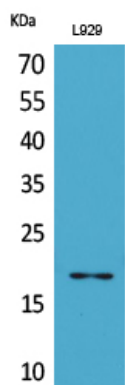
機能: eIF-5A のタンパク質生成における正確な役割は不明ですが、最初のペプチド結合の形成を促進することで機能します。PTM: eIF-5A は、リシンにブチルアミノ基 (スぺルミジン由来) を付加した翻訳後修飾であるヒプシン残基を持つ唯一の真核生物タンパク質であると考えられます。類似性: eIF-5A ファミリーに属します。組織特異性: 卵巣癌および大腸癌細胞株で発現しています (タンパク質レベル)。精巣で高発現しています。一部の癌細胞で過剰発現している。機能: タンパク質生成における eIF-5A の正確な役割は不明であるが、最初のペプチド結合の形成を促進することで機能する。翻訳後修飾: eIF-5A は、リシンにブチルアミノ基 (スぺルミジン由来) を付加した翻訳後修飾であるヒプシン残基を持つ唯一の真核生物タンパク質と考えられる。類似性: eIF-5A ファミリーに属する。組織特異性: 卵巣癌および大腸癌細胞株で発現する (タンパク質レベル)。精巣で高発現する。一部の癌細胞で過剰発現する。、

研究分野

画像データ



eIF5A (アセチル-Lys47) 抗体を用いた L929 細胞溶解液のウェスタンブロット解析。



1:1000 希釈の抗体を用いた L929 の溶解のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。